



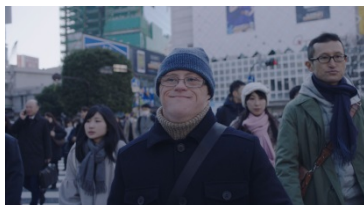
**SSFF & ASIA 2018 グランプリ (ジョージ・ルーカス アワード)、  
アジア インターナショナル部門優秀賞 (東京都知事賞) 受賞作品**

『カトンプールでの最後の日』

(Benjamin's Last Day At Katong Swimming Complex)

監督：イーウェイ・チャイ / シンガポール / 15:19 / ドラマ / 2017

幼少期に通っていたカトン地区のプールが解体されることを聞きつけたベンジャミンは、過去に感じた魔法のような時間を取り戻そうと願いながらプールへ向かう。



**平成29年度Tokyo Cine-magic特別製作作品**

**東京の魅力を世界に発信！オーストラリア人の女流監督がTOKYOを描く**

『シェイクスピア・イン・トーキョー』(SHAKESPEARE IN TOKYO)

監督：ジェネヴィエーヴ・クレイ・スミス / 日本 / 20:34 / ドラマ / 2018

出演：ジェラルド・オドワイエー 忽那汐里 千葉真一

ジェネヴィエーヴ・クレイ・スミス & パトリック・ブラモール

兄の仕事に同行して初来日したダウン症のベンは、途中で自分をかまってくれない兄から逃げるように、一人で東京探検に出かける。ベンは、シェイクスピアの知識と、即興で描くイラスト、そして持ち前のユーモアで、出会った人々の心をつかんでいく。



**Cinematic Tokyo部門優秀賞 (東京都知事賞) 受賞作品**

『東京彗星』(TOKYO COMET)

監督：洞内広樹 / 日本 / 24:54 / サイエンスフィクション / 2017

「1年後、東京に彗星が衝突する」ことが発表される。

学童疎開したショウは、ケンカ別れしたままの兄ソラを助けに、東京へとヒッチハイクする。



**日本初公開！人気英国人俳優ベン・ウィショー主演作品**

『ファミリー・ハピネス』(Family Happiness)

監督：アリス・ングラート / オーストラリア / 15:00 / ドラマ / 2017

出演：ベン・ウィショー (『パフュームある人殺しの物語』)、アリス・ングラート

兄のロミリーの自宅に妹のフィオナが訪れる。彼の家の外では二人がかつて好きだったアイドルが、一人路上で神の言葉を綴った本を売っていた。残酷な行為、大人のいじめ、そして兄妹の無償の愛の物語。



**村上春樹の同名短編小説を映像化！**

『パン屋再襲撃』(The Second Bakery Attack)

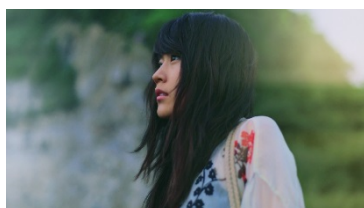
監督：カルロス・キュアロン / メキシコ・アメリカ / 10:00 / コメディ / 2010

出演：キルスティン・ダンスト (『スパイダーマン』)

ブライアン・ジェラティ (『ハート・ロッカー』)

ナットとダンの幸せな新婚生活は「お腹の音」で狂い始めた！

お腹が空き過ぎて眠ることができない、そんなサイアクな状況を打破するために二人は……。果たして彼らの新婚生活はうまくいく？



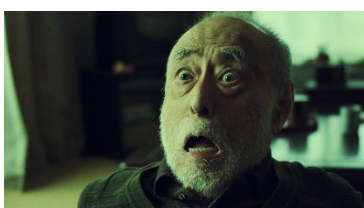
**有村架純主演、主題歌はandrop！**

『平穏な日々、奇蹟の陽』(Light Along)

監督：榊原有佑 / 日本 / 24:59 / ドラマ / 2013

東京でモデルの仕事が上手いかず地元に戻って来た紗季。

花火大会の夜、高校時代に憧れていた同級生真美と偶然出会い……。



**津川雅彦さん主演、遺作ショートフィルム**

『サイレン』(SIREN)

監督：三宅伸行 / 日本 / 16:36 / ドラマ / 2017

突如サイレンが響き渡る中、アラブ系移民のアッバスが、日本人の老人、豊重の家に押し入る。逃げ惑う豊重を押さえつけて背負い、玄関を飛び出すアッバス。階段を駆け下りる姿に、明らかになるふたりの偏見と勘違いに満ちたこれまでの日々が重なる。



日時：10月5日（金） 14：00～16：00

会場：東京都写真美術館

定員：190名

チケット：無料

申込方法：9月5日(水)14時から、ホームページにて先着順で受け付けます。

**株式会社 電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター  
高崎卓馬 氏 プロフィール**

広告を中心に様々な領域で活動している。主な仕事に、JR東日本「行くぜ、東北」、SUNTORY「ムッシュはつらいよ」「オレンジナ先生」、日本郵政「私は郵便局が大好きだ」、TOYOTA「WHAT WOWS YOU イチローが嫌いだ」、三井不動産レジデンシャル「タイムスリップ！ 堀部安兵衛」、映画「ホノカアボーイ」、ドラマ「戦う女」などがある。2010年、2013年、クリエイターオブザイヤー賞など国内外の受賞多数。著書に小説「はるかかけら」（中央公論新社）、「表現の技術」（朝日新聞出版）など。雑誌Hanakoでの「勝手にリメイク！」などの連載多数。

**映画『カメラを止めるな！』上田慎一郎監督トークセミナー 講師：上田慎一郎監督**



日時：10月8日（月・祝） 15：30～17：30

会場：東京都写真美術館

定員：190名

チケット：無料

申込方法：9月5日(水)14時から、ホームページにて先着順で受け付けます。

**上田慎一郎監督 プロフィール**

1984年 滋賀県出身。中学生の頃から自主映画を制作し、高校卒業後も独学で映画を学ぶ。2010年、映画製作団体PANPOKOPINAを結成。現在までに8本の映画を監督し、国内外の映画祭で20のグランプリを含む46冠を獲得。最新監督作である初の劇場用長編映画『カメラを止めるな！』は都内2館から始まり180館以上に拡大する爆発的なヒットを記録し社会現象となった。「100年後に観てもおもしろい映画」をスローガンに娯楽性の高いエンターテインメント作品を創り続けている。

**<「Cinematic Tokyo部門」作品募集のお知らせ>**

東京都は、SSFF & ASIAと連携して東京の魅力を国内外に発信するため、コンペティション「Cinematic Tokyo部門」を実施しています。

現在、「東京」を題材にして、多彩な東京の魅力を発信するショートフィルムを募集しています。東京をロケーションしているフィルムをはじめ、「東京」を感じさせる題材や、思い出の「東京」を描いたもの、あなたのイメージネーションでも構いません。様々な「東京」をテーマした作品の応募が可能です。

ノミネート作品は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2019」で上映されます。また、優秀賞には、東京都知事賞を贈呈いたします。

【募集期限】平成31年1月31日（木）まで

【応募ガイドライン】

- ・日本国内初上映（ジャパンプレミア）は問いません。
- ・ジャンルは問いません。
- ・エンドクレジット含む総尺は25分以内とします。
- ・制作国、制作年は問いません。
- ・英語と日本語以外の言語による作品は、オリジナル言語の対訳の日本語字幕もしくは英語字幕を付けてください。
- ・オフィシャルコンペティションへのダブルエントリーも可能です。 ※但し、別途応募手続きは必要です。

【応募方法】公式ホームページのオンライン応募フォームに必要事項を入力し送信の上、

①アップロード又は②DVD郵送

【賞 金】優秀賞：100万円

詳細は、公式ホームページをご覧ください。

[http://www.shortshorts.org/2019\\_call\\_for\\_entry/tokyo.html](http://www.shortshorts.org/2019_call_for_entry/tokyo.html)



平成30年6月のアワードセレモニーの様子

